

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年12月4日 (2008.12.4)

【公開番号】特開2007-112230(P2007-112230A)

【公開日】平成19年5月10日 (2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-303997(P2005-303997)

【国際特許分類】

B 6 0 T 7/08 (2006.01)

B 6 0 T 8/00 (2006.01)

B 6 0 K 26/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 7/08 Z

B 6 0 T 8/00 Z

B 6 0 K 26/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両のブレーキ装置に作動を指示するための操作部を備えた運転装置を制御するための制御装置において、

前記車両への減速指示が予測される場合には、前記操作部を操作し始めてから、車輪にブレーキが作動し始めるまでの遊びが小さくなるようにブレーキ装置を制御する制御手段を備え、

前記制御手段は、ブレーキペダルを押し下げる駆動部材の駆動量を制御して、前記ブレーキペダルを所定の位置に保持することにより遊びを小さくすることを特徴とする。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記駆動部材の駆動量を制御することにより、前記ブレーキペダルを、車輪にブレーキが作動し始めるときの所定の位置に保持することにより遊びを小さくすることを特徴とする請求項 1 に記載の運転装置の制御装置。

【請求項 3】

前記ブレーキ装置は液圧によって作動する液圧式ブレーキ装置であり、

前記液圧の値を検出する検出手段を備え、

前記制御手段は、前記液圧の値の変化に基づいて、前記車輪にブレーキが作動しているかどうかを判定し、前記駆動部材の駆動量を制御することにより、前記ブレーキペダルを、前記車輪にブレーキが作動し始めるときの所定の位置に保持することを特徴とする請求項 2 に記載の運転装置の制御装置。

【請求項 4】

車両のブレーキ装置に作動を指示するための操作部を備えた運転装置を制御するための制御方法において、

前記車両の減速指示が予測される場合には、前記操作部を操作し始めてから、車輪にブレーキが作動し始めるまでの遊びが小さくなるようにブレーキ装置を制御するステップを有することを特徴とする運転装置の制御方法。

## 【請求項 5】

前記制御手段は、ブレーキペダルを押し下げる駆動部材の駆動量を制御するステップと、前記ブレーキペダルを所定の位置に保持することにより遊びを小さくするステップとを有することを特徴とする請求項 4 に記載の運転装置の制御方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的は、車両のブレーキ装置に作動を指示するための操作部を備えた運転装置を制御するための制御装置において、前記車両の減速指示が予測される場合には、前記操作部を操作し始めてから、車輪にブレーキが作動し始めるまでの遊びが小さくなるようにブレーキ装置を制御する制御手段を備え、前記制御手段は、ブレーキペダルを押し下げる駆動部材の駆動量を制御して、前記ブレーキペダルを所定の位置に保持することにより遊びを小さくする運転装置の制御装置によっても達成できる。

車輪にブレーキが作動し始めるまでの遊びが小さくなるようにブレーキ装置を制御することにより、ブレーキの効きが遅れることを防止できる。また、このような構成により、ブレーキの効きが遅れることを防止できる。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】